

1級ロープレ三昧 事例相談者タイプを意識した4つの評価区分点数アップ1日講座 名古屋

特典
3日間連続受講

名古屋	日時：2019年11月4日（月祝） 9：30～16：30	会場：日本陶器センター 多目的ホール 地下鉄 高岳駅
受講料	会員 18,000円（消費税込） 一般 23,000円（消費税込）	特典：11月2・3日のアドバンス講座を受講された方に、当日 対策講座受講割引券5千円分進呈
内容	<p>①出題される3ケースを前もって提示するのは、ケースの見立てや背景、事例相談者の感情などを事前に準備するという趣旨です。</p> <p>②ケースの特徴を分析したら、事例相談者のタイプごとの対応（ずっとしゃべり続ける人や、あまりしゃべってくれない人）も必要です。</p> <p>③面接試験では、4つの評価区分（基本的態度・関係構築力・問題把握力・具体的展開力）ごとに点数が付けられます。結果通知を見ると、各評価区分の点数がひと目で分かりますが、点数が低い項目をどのようにし手試験管にアピールし、点数をつけてもらうかが重要です。</p> <p>④講座では、補強すべき課題を知ったうえで、1日中、本試験対応ロールプレイトレーニングをします。その都度、面談技法の軌道修正を行います。</p> <p>⑤口頭試問は面接試験の重要な一部です。各設問では何が聞かれ、どう答えると加点されるのかを意識した対応法をお伝えします。</p> <p>⑥ロープレと口頭試問の後、グループでの振り返りと全体共有を行うことで、自分の課題や全体の流れを明確化することができます。</p> <p>⑦講師より個別にフィードバックと改善点のアドバイスを差し上げます。</p>	

プログラム

- 試験で試験官がチェックしている4つの「評価区分」のポイントを知り、それを試験会場で試験官にアピールできるようにする。
 - ・「事例相談者」を「指導」することは、「支援」することであるという意味を理解してから、求められる対応を実践していきます。
 - ・振り返りを重視し、評価区分に基づく「第三者の目（試験官の目）」による評価を共有します。
 - 1級の評価区分「基本的態度・関係構築力・問題把握力・具体的展開力」で求められるスキルと、自分との面談における差異を把握し、改善法を見つけます。
 - 4つの評価区分をクリアし、さらに、口頭試問対策を行います。
 - ◆苦手なケースは作らない。苦手な事例相談者のタイプも作らないために、対応術を身に付ける。
- ・1級面接試験のロープレを、様々な立場で1日何度も体験します。
 - ・3人ロープレを行い、事例指導者・事例相談者・試験官の3つの役目を複数回体験し、様々な角度から理解したことを、実際の面談で表現できるようにします。さらに当会講師たちが、各グループに密着し、事例指導者役・事例相談者役にはもちろん、試験官役であっても気づきのポイントなど伝授いたします。
 - ・特に試験官役を体験すると、試験官に自分の面談のパフォーマンスをどうやってアピールすればよいかわかります。例年、3日間連続で受講された受講者は、ぐんと実力をつけていかれるのを目の当たりにしています。

ご提案→試験直前の対策 「本番さながらシミュレーション講座」(1月と2月)

何番目の事例相談者が、出てくるかわからない本番そっくり個人指導レッスン面談の精度を上げ、さらに本番と同じような緊張感を体験しましょう。